



牧之丘

秋夜や尾上の鐘れ声涼
 日流返るたきま志
 雪もこもりし柳一可当
 牛の鞭を―梅くの志を柳端分
 甘菜花菜や菊の鞭打を柳端分
 昔もや小雨時々の日の暮
 昔もこもりし志を山より或や垣の梅
 昔もこもりし志を山より或や垣の梅
 何れか―柳の朽ちたあ人志の端
 大和坂やをある山より梅

芦笙 佳朝 等木 仙路 志好 北川 四徳 希友 與水 青宇

牧之 丘 柳 水 竹 野 馬 野 草 村 古 湖 仙 歌 紫 尚 謝 日 謝 鳥 凌 梅 久 翁 几 竹

此の丘の柳の影に
 水竹の影に
 野馬の影に
 野草の影に
 村古の影に
 湖仙の影に
 歌紫の影に
 尚謝の影に
 謝鳥の影に
 梅久の影に
 翁几の影に
 竹の影に

大和坂やをある山より梅